

環境研究総合推進費 令和7年度中間評価個票

研究課題番号	2RA-2401
研究課題名	気候変動下で激甚化する都市型水害の低減に向けた都市型豪雨のモデル精緻化と不確実性の低い予測技術の開発
研究実施期間	2024（令和6）年度～2026（令和8）年度
研究代表機関名	埼玉県環境科学国際センター
研究代表者名	河野なつ美

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

都市における局地的大雨の予測の精度向上に対して、大気汚染物質による雲の生成や都市建築形態や排熱をモデルに組みこんで予測モデルの精緻化を目指しており、研究は計画通りの進展が見られる。学術的にも価値がある成果が得られていると考えられ、学術論文への公表を期待する。社会への発信活動を活発に行った点は計画以上であり評価される。一方でシミュレーション結果は時空間的に誤差が大きく、予測精度がどのように改善されているのかが明確に示されていない懸念がある。観測による検証をさらに行うとともに、都市発展効果、大気質効果の感度の普遍性について確認することが重要と考えられる。今後将来予測においては用いる疑似温暖化実験の特性を踏まえて慎重な評価をお願いしたい。さらに最終的に都市の排水設備や地下貯水池の現状なども考慮し、都市型の水災害を低減するための具体的な都市開発の提案に対しても検討を進めていただきたい。